2021年6月2日

グループ：E4（チーム村人）

記録者：今埜

議事録

【内容】

・システムのテーマ決め

・ヒアリング

・要件定義

**～11:00**

**【 システム案 】**

・辞書ツール（汎用例、プログラム結果の表示）

→ DB担当の負担大きい

・講師への質問予約システム

→ 質問のカテゴリ化（解決済みの明確化）

→ 質問順に並んでいるのか？

・受講者、講師陣のプロフィール作成

→ 議論活発化、受講者同士の交流

・アーカイブ動画のインデックス

◎講師への質問予約システム

課題点 ： 質問をどうまとめていくか

**11:10 ～ 12:00**

**【 テーマ ： 講師への質問管理システム 】**

・プログラミング初心者かどうかによって質問の答え方も変わる

→ プロフィールも絡めて考える

・質問内容の順位付け（短時間での更新必須）

・受講者と講師陣のログイン管理

・質問→回答→解決済みの表示（質問者本人・その他の受講者も閲覧可）→（講師のみ）受講者別質問履歴

・全体配信チャンネルと個人チャット（DM）の切り替え ：全体では質問しにくいこと

・類似質問に一括回答（同じタイミング）できたらよい。なお、時差があったらまとめられたらいい

・FAQ ：見るたびに検索するか、検索予測、HOT検索等

・質問の回答時間 ：1質問に対して平均10~20秒ほど

**【 ヒアリング項目 】**

* 事務局側への質問

・質問に関連して、評価も一括管理出来たら便利か。

・新規登録の際にほしい項目はあるか。

● 講師の方への質問

・slack形式で講師が困っていること。

・受講者から来た質問が講師側でどのように表示されているのか。

・何についての質問か、項目分けになっていたほうがわかりやすいのか。

・質問のみの管理か、評価も関連付けたいか。

・参加企業から受講者の情報がどれだけ届いているのか。

・質問に回答する際に歯がゆいと思ったことはあるか。

・歯がゆいと思ったときにどういう機能があればいいと感じたか。（参考URLの貼り付け等）  
・質問者側に対する要望。（もっとこういう風に質問してほしい、質問時に送ってほしい資料・プログラム等）

・類似質問に一括回答したいと思ったことはあるか。

● 全員への質問

・質問する際に歯がゆいと思ったことはあるか。

・歯がゆいと思ったときにどういう機能があればいいと感じたか。（参考URLの貼り付け等）

**13：00 ～ 14：20**

**【 ヒアリング結果 】**

●事務局

4～6月　DOJO立ち会い

slackの確認、研修時のトラブル・伝達事項の連絡

段位認定・テストの確認

６月以降　来年度の企画（カリキュラム）、営業、資料、Webサイト作成　★ここが大変

→こういうところを良くしたら快適に受講してもらえるかなと考える

・人数 ：DOJO専任4人（表に出てくる）＋バックアップもいる

・1日平均2人、他の二人はDOJO専任じゃない社員

・1日の仕事内容 ：

朝　ライブ配信（ウェビナー、Zoom設定）、テストの受講確認、伝達事項の共有

→基本的にはスラックの対応（講師・受講者）

研修後　月・木にミーティング

→各クラスの状況、カリキュラムのすり合わせ、日報や理解度確認のまとめ、講師への共有

・退勤時間 ：人によるが事務局以外の仕事もあるため平均19～20時

・出勤状況 ：ほぼ在宅、多くて週2出社

・時間のかかる仕事 ：

4～5月　コミュニケーションタイムやグループ活動のグループ決め

→グループメンバーの重複を防ぐ（なるべく様々な人と交流してほしい、男女比、経験の有無、ダブルチェックの実施→講師の確認）

講師とのミーティング時間（分担できないため）  
・グループ分けの基準 ：明確な基準なし。同じ企業の分散化、男女比。人事部からの要望なし。

・環境面以外のトラブル ：ネットワーク系が多い。

・Teracoは自社製。BtoBのため機能重視。イメージカラーは「黄色とオレンジ」。

・嬉しい瞬間 ：修了報告書での前向きな意見。発表会。

・過去の質問 ：データは残っているものの、整理整頓はできていない。

　　　　　　　　　　分類…機材周辺（1番多い）、Teraco不具合、講義に関する相談、個別相談

　　　　　　　　　　質問が同じでも原因が同じかはわからないため、個別対応が多い

　　　　　　　　　　みんなが起こりうる問題に関しては全体へ回答

・DM件数 ：多くて20件、少なくて5件。

・Teracoの機能 ：サポート動画はもっと見てほしい。

・日報の機能（要望） ：「その日がどうだったか」だけでなく、全体の流れの中での課題が知りたい

・DOJO運営する上で困っている点 ：伝達不足（Slackの重要度が伝わらない）

* 営業

・仕事内容 ：企業担当者とのやり取り

・頻度 ：毎月1回ほど話している

・企業との連携 ：毎日ではなく、テスト結果や日報の内容はTeraco経由。TELもあり。

・DOJOの強み ：「講師」カリスマ講師陣に登壇してもらっている（著書あり）

　　　　　　　　　　　自由度の高いシステム開発研修（例 ：6月のチーム開発研修）

・DOJOで声をかける会社 ：新人研修3か月間のため、単価が高い→ＳＥカレッジなどのサービスを既に導入している企業

・DOJOの実績掲示（具体例）：アンケート結果（満足度、講師、受講者の成績・成果物）

→“誰から教わるかを重視している”

・受講者の状況把握 ：理解度チェック（今年度より開始）、Zoomの画面共有（Eclipse）

・課題 ：日報や面談以外で心情（メンタル面）や状況が把握しにくい、受講者の申告のみで対応

* 講師

・受講者の言葉不足、講師の言葉の受け取り（伝わり切らない）

→カテゴライズ（大中小）

「ドリル」「段位認定」「現在の講義」

ここからさらにカテゴリ分け→受講者にとってのわかりやすい検索方法を模索する

・質問の形式について

項目枠の作成

1. トラブル
2. 用語がわからない
3. 言語自体の仕様

例）　トラブル

「どういうトラブルか」「どんなエラーメッセージが出ているか」

1番困っていること　『スクショだけではわからず、ソースコードがフルでほしい』

★必須？

質問パターン例（ラジオボタン）

1．壊滅的にわからない

2．ヒントが欲しい

・個人チャットを使用した質問量

多くて1日80件、平均50件前後（全体チャンネルは5％程度）→ほとんどDM

・受講者同士のコミュニケーションについて

　教えあう場があればいいが、コミュニケーションが不得意な人にも取り組みやすい工夫

・セッション依頼について

待ち行列の可視化

・オンラインの課題

　仲良くなり切れなかった（直で会うのとはやはり違う・・・）

・プロフィールの把握

経歴や系統、部活、趣味、性格、血液型

・受講者ひとりひとりの課題や改善策

　足りない部分伝えたい反面、何が足りないかの理解材料が足りない

　材料候補…プログラミングの進捗度を測る基準（基準化が難しい）  
→現在は、提出課題（ドリル等）や日報のコメント、提出課題のコード（サンプルと同じか）で把握

**15：35 ～ 16：10**

**【 要件定義 】**

テーマ：『質問管理システム』

●機能（候補）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | 小項目 |
| 質問管理機能 | 質問振り分け機能 | ・類似質問への関連付け機能 |
| 質問公開機能 | 全体配信/特定公開 |
| 受講者別質問管理 | ・回答レベルの通知  ・質問の投稿通知 |
| 質問投稿機能 | 個別投稿 | ・ジャンル選択  （どのカテゴリ？）  ・回答レベル選択  （緊急度、ヒント/回答） |
| 全体投稿 | ジャンル選択  （どのカテゴリ？） |
| 検索機能  （カテゴリ別） |  |
| プロフィール機能  （ID登録機能） | ・ログイン  ・プロフィール編集  ・画像投稿  ・内容確認 |  |

**16：20 ～ 17：00**

**【 要件定義 】**

・Word記入　–　機能概要